

活躍する応援職員

SUPPORT
POWER 

南三陸町 建設課 市街地整備係
もとき けんた
元木 健太 さん
兵庫県洲本市から南三陸町に派遣



阪神・淡路大震災で いただいた恩を返したい

「当時の総務部長から「阪神・淡路大震災の時にいただいた恩を返してこい」と送り出された」と話すのは、兵庫県南部に位置する淡路島の洲本市から来た元木さんです。1995年に発生した阪神・淡路大震災当時、元木さんは1歳。震災の記憶はありませんが、周囲の大人から当時の状況を聞いたり、学校の授業で阪神・淡路大震災に関する施設を見学したり、震災の教訓を学びながら育ちました。元木さんが洲本市に入庁したのは、東日本大震災が発生した翌月の2011年4月。洲本市では、震災直後から南三陸町に職員を派遣しており、いつか支援に行きたいという想いは8年後に叶いました。

元木さんが南三陸町に来たのは2019年4月。1年目は保健福祉課で、被災者の応急仮設住宅の入退去などに関する業務を中心に、仮設住宅が解消してからは、建設課で住宅再建に係る助成事業を行っています。「住宅再建を補助金で支援するにあたり、申請書の書き方や用意するものを分かりやすくお伝えするようにしています。派遣職員だと分かれると、住民の方



元木さんが所属する建設課が整備する「南三陸町震災復興祈念公園」。一部開園している「折りの丘」から見える町全体の景色が元木さんの気に入る。公園は今年秋に全面オープン予定です。

INFORMATION from MIYAGI

〔宮城県からのお知らせ〕

01 震災復興ポスターを 配布しています!

宮城県の復興の「いま」をお伝えするとともに、復興の過程で得られた新たな「価値・教訓」を全国に発信するため、今なお復興に向けて取り組む方々の決意や想いを表したポスターを4種類作成しました。震災の記憶の風化防止や、防災・減災を目的とした掲出を行っていた方々には無料でご提供いたします。



02 「宮城県震災復興パネル」の 貸出について

宮城の復興状況をまとめた「宮城県震災復興パネル」の貸出を行っています。防災等のイベントのほか、大勢の方がご覧になる場所で展示いただける場合には無料でお貸しします(送料は利用者負担)。全10枚のうち、枚数を指定した貸出も受け付けていますので、是非ご検討ください。

- 仕様等
サイズ:A1、枚数:10枚、
貸出料:無料、送料:利用者負担

ポスターとパネルの詳細は
みやぎ復興情報ポータルサイト
で検索

- 県震災復興推進課
☎022-211-2408

